



http://www.shinshiyou.com

〒221-0055 横浜市神奈川区大野町1-25 横浜ポートサイドプレイス509 アネックス5F TEL.045(440)3210 FAX.045(440)3209

発行元/公益社団法人神奈川県私立幼稚園連合会 発行人/会長 小澤 俊通 編集人/神私幼総務部(広報室) 発行/年3回 発行部数/1700部

県連会長としての8年間を振り返って

間もなく令和3年度の事業も終了しようとしております。この年度も新型コロナウイルスの感染対策に振り回された一年間となってしまいました。昨年10月以降は感染者も激減し、このまま終息へ向かうかと思われた時期がありました。変異株(オミクロン株)の出現で、そんな願いもはかなく吹き飛んでしまいました。各園とも、更なる感染防止対策のため、休園・学級閉鎖・自由登園等の対応に追われていることと存じます。また、年度末の行事や新年度を迎える準備で、お忙しい日々を過ごしておられると拝察致します。



公益社団法人 神奈川県私立幼稚園連合会 会長 小澤俊通

■県連会長の役割とは

私が幼稚園の世界に入り、40年以上が過ぎました。就職した当時の県連会長は、横浜の若月芳一先生で、その後平塚の柴貫先生、横浜の小笠原平八先生、遠藤匡弘先生、川崎の佐保田亘正先生と続きました。勿論お名前は存じておりましたが、ほとんど面識はなく、県連会長という存在は、はるかに遠いものでした。地元厚木協会の会長となり、県連の役員に就任すると、相模原協会の永保固紀先生が会長を務めておられ、ようやく身近な存在となりました。渡邊眞一先生が会長時代に、県央地区からの副会長を務めることとなり、渡邊先生の後を受けて会長に就任することになりました。正直に申し上げますが、「まさか自分が」という思いでありましたが、何とか4期8年間を全うすることが出来ました。県連会長として、県の担当課との交渉、全国団体・関東地区団体との協議、私学審議会委員や子ども・子育て会議委員等、会議や大会に参加して参りました。会長として判断すべき事項も次々と殺到してきます。重要な案件は、副会長に相談し、判断を誤ることのないよう自分なりに努力してきたつもりです。重責を担うには役不足で至らぬ点も多く反省する事ばかりですが、ご容赦頂ければ幸いです。

■今年2年間はコロナへの対応に追われる

令和2年5月の県連総会は、参加者を最小限にして開催し、新役員が承認されました。まさかこの2年間で、新型コロナウイルスの感染拡大の影響をこれほど受けるとは想像もしていませんでした。幸いにして各部の主要なメンバーは留任して頂くことが出来、それぞれが事業の内容を熟知しており、知恵と工夫で乗り切る事が出来ました。「ハイブリット」とか「オンライン」という言葉が当たり前のように使われ、会議や研修の在り方も様変わりしてまいりました。計画した事業を何とか実施したいという各部関係者の願いが、痛いほど感じられる2年間でありました。

■未来へ向けて歩み続ける

急激な少子化の進展、母親の就労希望の増加、保育施設の増設など幼稚園を取り巻く環境は厳しさを増す一方です。さらに、子ども・子育て新制度の施行、幼児教育・保育の無償化など制度も大きく変わってきています。ダーウィンの進化論によれば、環境に合わせて進化していく生物が生き残ると言われています。私たちも制度や環境の変化に合わせて生き残るべきところは合わせて、変えてはならない建学の精神や保育目標は変えることなく、歩み続けて参りましょう。この国の未来を拓くのは、間違いなく目の前にいる子ども達です。希望と期待を胸に日々の保育を展開して参りましょう。

最後に、ご支援を頂いた加盟各園の設置者・園長各位を始め教職員皆様に御礼を申し上げます。また、副会長を始め各部長・次長・室長・副室長そして特別委員長・副委員長・運営委員の皆様、本当に有難うございました。押本・磯川両監事にもお世話になりました。県連事務局のメンバーには、いつも明るく対応して頂き心から感謝しております。

INDEX	
1	県連会長としての8年間を振り返って ●(公社)神奈川県私立幼稚園連合会 会長 小澤俊通
2-3	部長・室長・認定こども園委員会委員長 任期の2年間を終えて
4-7	12協会長に聞く 2年間を振り返って 研修事業部・研究部 活動報告 ■令和3年度 研修事業部 活動報告一覧 ■令和3年度 研究部 活動報告一覧
8-9	令和4年度 私学振興費の概要について 令和3年度 幼稚園教育経営研修会 102条園研修会開催 後継者育成研修会報告
10-11	賛助会員のご紹介 プレゼンテーション 株式会社ニシハタシステム/株式会社ネエチア
12	お知らせ 関東地区教員研修大会2022 ケンタガーデン⑭ 法律相談 ●ハラスメントの防止 教育相談 ●ユニセフ?

部長・室長・認定こども園委員会委員長

任期の2年間を終えて

令和2・3年度の2年間、県連合会の部長・室長・認定こども園委員会委員長を務められました8名の先生方に、任期を終えるにあたって、2年間を振り返っての想いをお聞きしました。



広げよう

地域を越えた親睦の輪

総務部長
鈴木豊司



前期に続き計4年、過渡期を迎える県連合会総務担当として様々な案件に関わる機会を頂きました。

園児減少による恒常的な会費収入減・新制度移行に伴う県から市町村への行政移管・新型コロナウイルス流行や国家施策による会議体や研修の内容や方式の見直し等々、多様な課題が日々生まれ、そして各部が総力を挙げ且つ時間をかけての検討を繰り返す。結果様々な事が大きく進化する一方で、全県レベルでの情報共有や振興は少々希薄化しているのではとも感じています。新制度移行による行政窓口の分散化とコロナによる対面機会の減少による環境変化の影響は大きいですが、少子化の折、我々が「認可幼稚園」という強みを最大限に発揮し、常に新鮮な教育を提供するには、定期的な勉強と同時に地域を越えての情報交換が益々有益だと考えています。約580の園で組織される県連合会の秘めたる力は絶大です。多彩な研修会や委員会へ是非多くの皆様にご参加頂き、そこに集う仲間との親睦の輪も広げて頂けましたらと思います。特に今年は8月9日・10日に、パシフィコ横浜にて関東地区教員研修大会を開催します。知識以外にも様々な事を吸収できる絶好の機会なのだと私も今からワクワクしています。



新型コロナウイルスで転換期

新型コロナウイルス

振興部長
石井和則



振興部では、各園の園長・設置者の皆様のご支援・協力のもと、県知事及び県議会議員への予算・政策の要望活動や学事振興課との協議、父母の会連合会と共催の研修大会、幼稚園教育経営研修会など様々な事業を中心に、「コロナ禍の中、色々と苦慮しながらも充実した活動ができたのも皆様のおかげと心より感謝申し上げます。令和2年度4月の新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言に始まり、令和3年度1月のオミクロン株の猛烈な感染者の増加により「まん延防止等重点措置」が3月まで延長されるなど『新型コロナウイルス』に振り回された2年間といつていいかと思えます。

社会の生活様式が大きく変わり、父母の会の研修大会や園長設置者教育経営研修会などは、すべてYouTubeライブ形式でオンライン開催となりました。父母の会研修大会などはオンラインの方が、遠方の方や子育て中の保護者にとつては会場まで行かなくても自宅で見られるという点で逆に良かったという意見もありました。今後、新制度の諸課題のみならず、人材確保、処遇改善など私立幼稚園の様々な課題、そして子ども家庭庁の創設など制度が大きく変わり変革を求められる今だからこそ、幼稚園教育の重要性をさらに訴えていく必要があります。

意義な方法であると思います。

まだまだコロナ禍が収束するには不透明な状況ですが、そのような時でもどのように研究活動を進めていくか、それぞれの先生方の創意工夫が必要な時代になってきました。

人材確保に向けて

取組む

経営管理部長
浅谷 学



経営管理部では、私立幼稚園経営を取り巻く諸課題に対する活動を進めてきました。なかでも人材確保の問題は園経営の根幹に関わるため、まずは県の「幼稚園教員復帰等支援事業」の受託に努めました。令和2・3年度とも県連が引き続き選定されたため、各協会が実施する就職フェア・相談会を網羅したパンフレットとリーフレットを作成し、これらを養成校等に送付して参加促進と就業意識の高揚に努めました。

また、幼稚園教諭を目指す学生をはじめ、幼稚園教諭免許を持っている潜在的幼稚園教員、幼稚園教諭免許は持っていないものの幼稚園教育に関心のある方々などに向けた広報として、県内のタウン紙(インターネット版を含む)を活用しました。コロナ禍にあつて、2年度は止むを得ず中止にする会場もありましたが、3年度はオンライン(Zoomb)や動画配信を取り入れるなど、新しいスタイルも始まりました。将来的な人材確保に向けては、2年度は職業体験を行う中学生を対象に、幼稚園の先生になるための方法や仕事内容等を紹介したりリーフレットを作成し、各園を通じて中学校に配付していただきました。しかし、3年度は職業体験を実施する中学校の報告がなかったため成を見送りしました。そのほか102系園プロジェクト委員会では個人立園の運営に関する研修会を実施し、後継

者育成研修会では多くの方々に参加していただけるテーマや講師の選定に努めました。

運営を振り返って

財務室長
小笠原 裕



県連合会の各事業は、5部会・3委員会により運営されています。定款により、①幼児教育に関する研究・研修(13事業)、②幼児教育を推進するための調査研究(7事業)、③幼児教育発展のための会報及び図書(2事業)、④公共団体及び関係者諸団体との連携に関する事業(3事業)、⑤その他この法人の目的を達成するために必要な事業(10事業)の全35事業が推進されてきました。コロナ禍の各事業は余儀なく中止や延期となり、事業計画・予算案は見直し変更になりました。

この状況改善のために収支改善特別委員会(木元委員長)と第35回関東地区神奈川大会特別委員会(岩本委員長)が別途編成されました。収支改善特別委員会の事業内容及び目的は、今後の園児減少に伴い収支悪化が見込まれるため、連合会が求められる事業を今後も継続実施するために改めて会費徴収(収入)の望ましい仕組みを検討し、さらにコスト軽減化と新型コロナウイルスまん延の中での事業継続(ICT活用やオンライン配信等)の企画検討、かながわうちえん会館の取得後14年経過に伴う今後の施設維持更新を計画的に実施できるよう組織されました。連合会の沖野会計士や監事の磯川氏・押本氏の進言や正副会長の助言を基に、空調設備(業務用エアコン)や照明器具(LED省エネ化)の更新といった喫緊の課題に対しても特定費用準備金資産取得資金の積立を実行するなど検討しています。

各園が建学の精神のもと、より安定した幼稚園経営を目指していくためにも、尚一層県議会や福祉子どもみらい局の皆様にお力添えをいただきながら、今後の動向を見据えていくことが大切であると実感しました。

事業成果と報告

研修事業部長
田中伸宜



平成27年より4期8年を研修事業部長として県連で過ごさせていただきました。前任の岩本先生より引き継いであつたという間の8年間でした。思い出すのは園内研修。某大学O先生との出会い。前年度から引き続きいた研修でしたが、定刻になったので研修会を始めようとしたら、「まだ全員揃ってないのに始めてしまつのか、待たなくて良いのか？」と怒鳴られたことを思い出します。待たせてしまつている先生方を思い研修会を始めようとしたのに…。いやあ、色々な先生がいらっしゃるんだと思えました。また現在、廃止制度待ちである教員免許状更新講習実施も楽しかったです。夏は鶴見大学に、秋は小田原短大に。台風で電車の運休や遅延等心配で前日から泊まり込みで開催に当たりました。寝食を共に過ごしていただいたスタッフの皆さんありがとうございました。いや「寝」はないか。

令和2・3年はコロナとともに変化した県連の研修事業・研究部事業であったと思えます。Zoomという力強いツールを得て、県連の研修事業・研究部事業、会議もオンライン化しました。今後オンラインの良さや対面で行う研修の良さを生かした研修事業がすすめられると思います。成果は参加された先生方が評価していただくもの、私の成果は色々な先生やスタッフの皆さんとの出会いです。

ICTの進化に感謝

広報室長
高野正基



2年1期の役員任期もあとわずかとなりました。今期は人と人との繋がりの大切さを再確認でき、対面・オンラインなどコミュニケーションのツールを獲得できました。2年前の広報室を振り返ってみると、新年度に向かい運営委員会からの助言を受け、室員の増員を図ったところ入室を3人も希望してくださり、新メンバーとして共に活動に取り組んでもらいました。4月に「緊急事態宣言」を受け当初思うように会議が開けないのではと懸念していましたが、県連がいち早くオンライン会議を導入し編集会議を開くことができました。

会報を発行するには毎回2回の会議を必要とします。1回目は内容やレイアウト等を決めるためオンラインでもできます。2回目は原稿を読み返し、句読点の確認や誤字・脱字等を一文一字一文追っていき、文末の言い回しや団体名の確認等をする作業があります。そのため、オンラインではなく対面で行っている意見交換をし、会議を進めることができました。ICTの進化により、必要性に応じて柔軟に会議を行えたこと、本当にありがたく思いました。広報室のメンバーと共にICTを積極的に用いて、広報室は読者である県民の方々、加盟園の諸先生方に、より読みやすく、わかりやすく、皆様が求めている記事を発信できるよう尽力することができました。この会報、スマホから手軽に見ることが出来ます。県連のHPを開いて会報をクリックしますと、いつでも何処でも読める媒体です。ご覧いただいていない方はこれを機会に、是非ご覧頂きたいと思えます。今期も「愛読いただきありがとうございます」。

最後に、研修事業部にお力をお貸しいただいたスタッフ皆様とお力添えをいただいた養成校の先生方に御礼申し上げます。

コロナ禍の1年を振り返って

研究部長
佐伯 妙有



令和3年度は、コロナ禍の状況も落ち着くことがなく始まりました。令和2年度に始まったオンラインによる研究体制がだんだん落ち着き、県連でも幼稚園会館の会議室がオンライン対応に適した環境になったことでWithコロナの体制も整ったと思います。研究活動にとつては、対面に勝るものはないと思いますが、この状況で各部会は工夫を凝らして取り組んでいただけたと思います。特別研究部会のA部会では、昨年に引き続き環境を変えることで保育がどう変わっていくかを考えていきましたが、公開保育ができない中、園の保育の様子を動画に撮ってきて、それをもとにオンラインでグループワークをすることで、少しでも実際の保育から研究を深めていく試みが行われました。B部会でも、各先生の実践を出していただいて佐伯胖先生と森本壽子先生のディスカッションをすることで、佐伯先生の理論を保育現場により結び付けられるようになりました。若手保育者のための勉強会でも、若月芳浩先生が様々な講師を連れてこられて、保育を変えていくことの面白さ、素晴らしさを伝えてくださいました。

資質向上セミナーの井桁容子先生は、乳幼児の世界の素晴らしさ、その世界への見方、かわり方を教えてくださいました。ECEQ部会は今回開催できませんでしたが、今後第三者評価で公開保育が必要になってきます。というよりも、ECEQは自園の向上のためにも有るべきです。

新制度の情報周知に向けて

認定こども園委員会委員長
樽木陽子

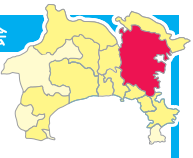


認定こども園委員会では、認定こども園だけでなく、新制度にかかわる各協会や各園の課題をまとめて、その対策に向けて活動しています。今年度は処遇改善等加算IIについての質問事項への回答や新しい通知などを県連のホームページに掲載し周知するなどいたしました。委員会では、地区よつての課題や情報収集・情報交換の方法など話し合い、各地区へ情報提供もいたしました。

新制度における処遇改善加算IIに関する研修要件の確認については、令和5年度以降段階的に適用することになり、副主任保育士・中核リーダー等の完全実施は令和8年度からになりました。少し時間に余裕ができましたが、各園・各職員個人にも研修管理を奨励しています。各協会で自治体と、研修要件の確認・交渉していくようお願いしていますが、県連でも各協会の状況なども確認しながら、神奈川県に対して、できるだけ先生たちが受けた研修を認めてもらうように要望していきます。今後、制度の変更や新しい通知が出た時には随時周知していきます。認定こども園委員会では、キャリアアップ研修としてマネジメント研修を実施しています。今年度は、7月26日・28日の3日間合計15時間のZoom研修により実施しました。グループセッションも取り入れて意見交換も試みました。キャリアアップ研修A・B・Xの各講師の先生のお話はわかりやすく受講者に好評でした。来年度も、より良い研修が実施できるように計画します。

12協会長に聞く 2年間を振り返って

早いもので、年度末を迎えました。県内12協会の協会長に今期を振り返って頂きました。



(公社)横浜市幼稚園協会

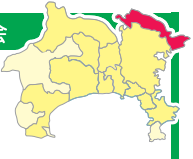
就任初年度

会長 荻 込 大



本来であれば、今期の会長任期は令和4年の総会までとなっておりますが、令和3年3月、浜幼前会長の鈴木浩先生が体調を崩され退任されたことにより、その4月から横浜市幼稚園協会の会長に就任いたしました。

何処の地区の皆さまもコロナには悩まされていることと思います。私事で大変恐縮ですが、昨年の夏コロナに感染し、又身内にも感染により命が危ぶまれた者も出たり、今までない経験をいたしました。当然それと同等とは申しませんが、任期中での会長就任もまた、大変な出来事であり、すべての事務が初めてであると同時に、すでに1年間、事が進んでいるため、全く理解できていないことが殆どでした。就任1年が経とうとしている今改めて思うことは、今まで協会のお手伝いはしていても、全く知らないことが出来ない会長としての仕事があり、歴代の会長の皆さまは、協会会員である私たちのために、「尽力頂いていたこと」、心から感謝の意を表したいという事です。任期満了まで残り僅かではありますが、微力ながらもお役に立てればと考えております。



(公社)川崎市幼稚園協会

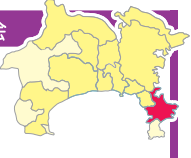
幼稚園の魅力を伝える努力を

会長 鈴木 伸 司



川崎協会は現在84園中、新制度移行園は22園と県内でもまだ新制度への移行率は低い地域です。ただ、市内の保育園新設が未だに続いていて、数年来の幼稚園児数の減少に歯止めが掛からないこともあり、毎年数園ずつ新制度移行園が増加しています。加えて幼稚園教諭の採用についても御多分に漏れず年々難しくなっています。毎年開催している協会の就職フェアは、実行委員が様々な工夫を凝らし、回を重ねる毎に充実していると思っておりますが、願わくはフェアの広報活動が、養成学校の学生の方々だけでなく幼稚園教育自体の社会に対するPRに繋がってほしいと思います。

園児数の減少、幼稚園教諭の採用難と幼稚園にとつて困難や課題が山積みで、加えてこの協会も新型コロナウイルス感染症対策には常にストレスを抱えながらの事業運営でしょう。そんな厳しい時代にこそ、組織・団体の対応力や管理能力、困難へのしなやかな適応力としての『レジリエンス』が重要になってくると思います。これからも、様々な機会を捉え社会に向けて幼稚園の魅力を発信し続けることを念頭に、協



横須賀市私立幼稚園・認定こども園協会

チーム力の高まり

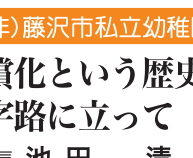
会長 余 郷 有 聡



本年1月上旬、神奈川県私立幼稚園連合会の担当者様よりこの原稿の依頼をいただきました。ふと頭に思ったことは「えっ！もう2年たった？」「マークと？マーク2つです。3期6年横須賀協会長に就任いただいた竹折輝隆会長先生の「推薦をいただき次期会長の席を務めることになりました。竹折前会長の成し遂げられた功績を鑑みると「果たして自分に本職が務まるのか？」と不安もたくさんあります。

本職就任後は「コロナ禍」のため予定していた全ての行事、企画が中止、ネットワークを使ったオンライン研修に余儀なく変更されました。協会役員会では「次の行事はリアル開催？オンライン？」という協議検討を続けてきました。そんな見えない「感染症対策」を続けながらの協会運営を続けてきました。すると役員会でも設置者園長会でも前向きな様々な意見をたくさんいただきました。私の実感は「自園の感染症対策で大変な時期に加盟園皆様がとても協力的だな」です。こうして2年間の本職を無事に勤められたことは加盟園の設置者園長先生方、協会役員の方々の協力の賜物と感謝に堪えません。まさに「横須賀私立幼稚園・認定こども園協会のチーム力の高まり」の2年間です。

会全加盟園が気持ちを一つにしてこの難局を乗り越えてゆきたいものです。



(特非)藤沢市私立幼稚園協会

無償化という歴史の十字路に立って

会長 池 田 清



子ども・子育て支援新制度(平成27年4月施行)から4年の時を経て幼児教育無償化(令和元年10月)が実現しました。

それから2年余。将来この5年間におきた環境変化が幼児教育の歴史の中でどのように描かれ評価されるのでしょうか。歴史の十字路に立ち止まり何を考えどう歩んだか。地域の中で園が果たすべき役割は？変わるものと変わらないもの。昨今の困窮極まる人材確保難や園児数の減少。無償化との相関の程度はいかに？当事者となり憂慮は尽きません。未曾有の少子化がもたらす困難の中、次代を担う子ども達の成長に寄り添う私達です。「新制度」「無償化」「少子化」「人材確保」「処遇改善」「主体的・対話的な深い学び」「学びの連続性」「10の姿」等、今を切り取るキーワードから見えてくる何かを大切にしたいと思えます。時代という風をどう読むか。コロナ禍にあって右著しく個に陥ることなく加盟園の先生方とともに歩み、これまで築いてきた礎の上に更なる「コミュニケーション」を重ね、新たな一歩を踏み出して参りましょう。そのプラットフォームとなるのが連合会であり各地区協会です。今後ともよろしくお願い致します。今期も県連、藤沢協会をはじめ多くの先生方にお世話になりました。心より感謝と御礼を申し上げます。対話の中から得られた学びを宝に



鎌倉私立幼稚園協会

繋がることの大切さ

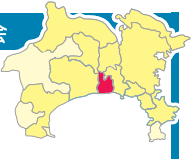
会長 高 麗 宏 子



緊急事態宣言で始まった令和2年度。現在は第6波で子どもへの感染者が増えていきます。鎌倉協会では、昨年度の緊急事態宣言下でストップしてしまった会議・研修をオンライン化することから一つ一つ、手さばり進めてきました。会議のオンライン化は、当初違和感があったものの慣れてくると、ドア・トゥー・ドアで時間が有効に使えます。研修も各園から複数で参加しやすくなり共に学べるようになりました。もう一つ、園長

同士が繋がるのが大事だと考え、お互いの園の状況を報告し意見交換を多くするようにしました。園内に感染者が出た時・雪の日の対応など、困ったことがあると連絡し解決方法を相談するなど助け合っています。保育に関しては、コロナ禍で色々なことに制約が求められたことで、行事の見直しなど教育内容の大きな変更が必要となりましたが一度立ち止まる良い機会となりました。今、様々な個性を持つ子ども達が増える中、「愛でられ」「生き生き喜びを持って」小学校に行かれるよう導くのが私たちの使命ですので、それが実現できる環境整備をこの機会に大きく求められていると感じています。

コロナ禍の大変な時代だからこそ繋がることで、助け合うことの大切さと創意工夫で乗り越える経験ができた2年間となりました。



茅ヶ崎市私立幼稚園協会

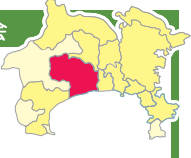
かけがえのない命を預かって

会長 豊 嶋 常 和



茅ヶ崎協会内の幼稚園では、今までコロナ禍の中、情報交換し合ってきましたが、最近では自園での解決策を模索し、それぞれの園で誠実に対応し続けています。今回のコロナ禍で、子ども達は家庭で過ごす時間が増え、特に母親は育児や子どもとの向き合い方等に苦労があり、幼稚園から発信するホームページ・おたより等情報を得た保護者の方は「家族皆で楽しみ元気づけられた」「おたよりに書かれていた、近

くへおさんぽへ行こう」を実行した所、体を使う気持ちよさ、自然に触れる楽しさを親子で体験できた」という声もありました。子どもにとつて、いつもと同じ生活の場で日常を守るのが大人の責任であり、それぞれの場で子どもと笑顔で過ごす事が大事であると改めて思っています。最近、再度倉橋惣三の本(講談社)を読みました。倉橋は、苦しみ・困難にあった戦争・コレラ・スペイン風邪の病い、関東大震災という激動の時代にも「幼児教育とは人間の根っこを育てること」という信念で幼児教育の場である幼稚園を創った方です。子どもを中心に考えた創立の心に改めて感動しました。



湘中央地区私立幼稚園協会

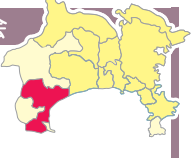
コロナ禍の創造的協会事業

会長 小 山 直 久



今からおよそ3500年程前の1605年、ロンドンを襲ったペストの大流行を逃れてケンブリッジ大学から故郷に帰ったニュートンは万有引力の法則を発見するヒントや、それを導く微積分の発明など、主要な業績をこのペスト休暇中に行なったというエピソードがあります。後にニュートンはこの時期を自ら「創造的休暇」と呼んだそうです。

2020年に日本を襲ったコロナですが、ニュートンに習い、この時期から出来る事を各担当部長と考え次の事業を実施しました。一、例年賞状を讀上げて直接手渡せるのは代表者数名だけの永年勤続者表彰を、各園に直接出向くことで表彰者一人一人に名前を讀み上げ直接手渡しするようにしました。二、初めての試みでネットを利用した就職相談会や研修会を開催しました。これらの取組みの結果、表彰状を直接授与出来たことは表彰者に好評でしたし、就職相談会の参加者からは時間に縛られず良かったとの声が聞けました。また研修会は、普段は講師料の関係で呼べない先生の話聴くことが出来て良かったとの感想を得ています。一方で、先日2年ぶりに対面で行ったオープン講座は受講者が従来の2倍以上で会場は満席になりました。このことから私は、いくらネット環境が進んでも皆は対面が基本だった「コロナ前の状態を望んでいるのだな」と任期の終わりを改めて強く感じている次第です。



小田原私立幼稚園協会

協会2年間の歩み

会長 武 藤 保 之



令和2年4月より、今期の協会活動が始まりました。新型コロナウイルス感染症予防の為に全国的な休園措置があり、始業式や入園式も先延ばしになり、協会として子ども達に何を為すべきかを考えました。インターネット活用を含め、各園に出来ることを行いました。元気な先生のビデオメッセージ配信、手書きの手紙・絵本を郵送で送る等、コロナ禍での貴重な体験をしました。協会研究部は昨年度より、子ども教育宝仙大学の守巧先生をお招きし、オープン講座の開催と協会加盟園12名の先生方の研究活動を指導頂きました。

湘南地区大会はコロナの為昨年度は延期、今年度はオンライン開催で基調講演のみとなり、各協会の研究発表が出来ませんでした。またこの2年間、小田原教育研究大会は中止となり、ここでも研究報告が出来ずに誠に残念でした。この2年間で培った研究の成果が今後の保育に活かされることを願います。先生の日は、昨年度はガラスアート工芸作りと湯本富士屋ホテルでの会食を楽しみました。今年度はコロナ禍で急遽中止となり誠に残念でした。今後は実施することが出来るよう願っています。この2年間は小規模協会内の全ての先生方が企画立案にご尽力くださり誠にありがとうございました。新年度はコロナが収束して、楽しい園生活及び豊かな協会活動が出来ることを願っています。

withコロナの時代も3年目を迎えました。令和2年度の7月頃よりオンラインの研修に移行して以来、県連でもオンラインの研修・研究活動が定着しました。従来の対面の良さに劣ると思いますが、逆にオンラインであるがゆえに参加者や参加園に良い変化が見られました。

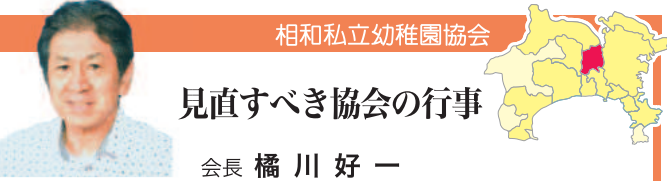
一つ目として研修・研究の参加者が増えた点。二つ目には研修・研究に参加園が増えた点ではないでしょうか？ 保育を終えて県連に出かける必要がなく、自園で、また家庭で研究・研修を受け

研修事業部・研究部 活動報告

られることが二つの変化の理由でしょう。まだ先が見えない部分もあるかと思いますが、この長所も生かしながら次年度の研修・研究事業を組み立てていきたいと思ひます。今年度、研修・研究活動にご参加いただいた先生方、そして生たちに研修・研究の時間をいただいた設置者の皆さんに御礼申し上げます。最後に講師としてオンラインの研修・研究をご指導いただいた先生方にも御礼申し上げ令和3年度の研修事業部・研究部の事業報告とさせていただきます。

Table with 5 columns: 研修会名, 月日, 講師, 参加人数, 所属園番号. Contains reports for 令和3年度 研修事業部 and 研究部 activities.

Table with 5 columns: 研修会名, 月日, 講師, 参加人数, 所属園番号. Contains reports for 令和3年度 研究部 activities.



見直すべき協会の行事

2年間における相和協会としての行事は新型コロナの影響でほとんどが中止またはリモートによる実施という状況でした。協会の総会は、2年目により実施することができず、先生の日については計画は中止、研究部活動も部員が集まらずにリモートによる意見交換、経営管理部での就職相談会は、なんと開催できず、参加園より来場者が少なく、難しさを痛感しました。

父母連活動も総会では、新役員さんとの初顔合わせや引継ぎも出来ましたが、広報委員活動は対面とリモートの両面で行っています。また、会議や行事については密になるのを解消するため、リモートで行いました。設置者・園長会は、決まった園で役員と少人数が集まり、リモートで開催しております。なお、コロナウイルス感染が落ち着いたときには対面で行いました。その都度、あらゆる議題の対応や情報交換を行う一方、Sickを適用して伝えられなかったことについては、より早く情報の提供を行いました。また、各園の行事の対応やコロナウイルスの感染状況も伺え、不安の解消にもなっているように感じました。2年間を振り返って、今までに当たり前にできていた行事が、コロナウイルスにより変えざるを得ない状況になったときの教訓、協会行事の見直し、そして各園での生活様式の見直しや保護者に対する対応等が確認でき、考えさせられた年度ではなかったかと思ひます。なお、保護者の方々には、園行事に参加制限ということについて思いをさせてしまいました。何より

も、コロナに感染しないしてほしいという思いから、子ども達の命や教職員をコロナ感染から守ることが必要であることは、設置者・園長として当然のことだと思ひます。少子高齢化の進む中、幼稚園を取り巻く環境は非常に厳しいものがあります。園児減少の中、協会行事、子育て支援と少子化対策、次世代育成支援対策など様々な課題があります。その一つを相和協会の設置者・園長先生方で考え、協議しながら研鑽し、実施できるように日々努力していきたく思ひます。



今年2年を振り返って

この2年間は「新型コロナウィルスのまん延」につきるでしょう。緊急事態宣言が発令されての休園から、今は園児や先生の感染による休園や学級閉鎖は、いつ起こしても不思議ではなくなっています。協会の事業運営は3密を避け、感染予防を徹底し、停滞することなく如何に必要な事業を行うか考え、加盟各園にオンラインの為のネット環境を整えて貰いました。お陰で現在は会議、講習・研修会、実践研究等も、全てが完全オンライン又はハイブリット形式で行う事が出来るようになってきました。オンデマンドでの研修や講演会も配信する等して、コロナ禍でも先生方の学び機会を減らさず、逆に学びやすくなるように努めています。ネットを有効活用した協会運営には、多くの若手の先生方に助けられ、各園の先生方に協力いただきました。今後大きくは変わらないと思ひます。

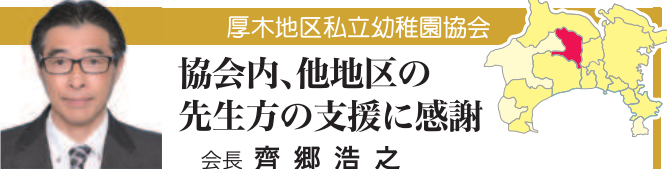
幼稚園を取り巻く環境も、幼児教育・保育の無償化の影響で大きく変わりました。幼稚園の減少は歯止めがかからず、各園と共に協会運営も見直すことが求められています。少子化は止まらず、幼稚園が培ってきた幼児教育の大切さを、どのようにアピールしていけば良いのでしょうか。マスク無しで子ども達と遊び、歌を歌い、多くの人と対面し集える様になる事が夢なのです。



小さな協会の特性を活かして

逗葉協会は県で一番小さな協会ですが、令和3年度から聖和学院幼稚園が新たに加入して6園になりました。私学助成園あり、認定こども園あり、施設型給付園ありと少ないながらバラエティーのある共同体です。園長は5人で、協会としての役割分担を担うのはなかなか大変です。この2年間は新型コロナウィルス感染症緊急事態宣言による登園自粛から始まり、どの幼稚園も入園式は遅れて始まり、今年に入ってからオミクロン株流行までは園児の感染は少なく、保育や行事は制約があるものの少しずつ平常に近づきつつあります。とはいえ、協会としての活動は著しく制限せざるをえませんでした。父母連の活動は自粛が続き、協会員総会は書面による報告になりました。年4回の研修会も開催できませんでしたが、今年度に入りようやくオンラインの環境を整え、11月に常葉大学教育学部准教授の望月たけ美先生のご指導のもと、大学と6つの幼稚園をZoomでつなぎ、表現活動をテーマに研修会を実施することができました。今後の研修事業に活路が開けました。

今後小さな協会の特性を生かして活動を続けてまいります。



協会内、他地区の先生方の支援に感謝

令和2年度から協会長を拝命し、あっという間に2年間が過ぎようとしています。それまでは協会内の副会長として5期10年を務め、協会の役割や仕事内容は理解していましたが、いざ協会長となると、その責任の重さをひしひしと感じました。協会長としては、厚木地区協会の想いを伝え、連絡係として、県連・全日・行政の情報や加盟園に伝えること、協会内の父母連と共催で地域の教育力向上の研修会や幼稚園大会を実施する。行政等へ幼稚園教育の重要性を訴え教育振興をする。就活フェアに行政の後援も頂き、この地域に良い人材を集め先生の質の向上を図ること等を重要課題として協会内の先生方に協力頂きました。就任1年目から「教育研究県央地区大会」の当番がありましたが、令和2年8月に厚木市立小学校の感染（NHK報道）が大きく取り上げられ、新型コロナウィルス感染拡大の中で、県央の他地区の先生方と協議を重ね、1年目は延期と致しました。次年度の令和4年1月27日にまん延防止等重点措置の中で、地元ホテルの大会場を借り、オンラインにて約900名の先生方の参加の中、式典と記念講演を無事に終えることができ、本当に胸を撫で下ろしました。

この2年間を振り返り、何よりも協会各園の先生方のお力添えに感謝です。県連の小澤会長をはじめ、役員の方、事務局の皆様には大変にお世話になりました。

振興部長 石井和則

令和4年度 私学振興費の概要について

2月10日にようちえん会館において令和4年度県予算(案)「私学振興費」の概要について、福祉子どもみらい局子どもみらい部私学振興課山中教課長より私学関係団体の代表者等へ説明があった。『「いのち」と「暮らし」を守り、新しい日常へ』というスローガンのもと、新型コロナウイルス感染症対策として、医療提供体制を維持する取り組みの継続を想定すると同時に、経済の回復に向けた支援を展開するため、一般会計全体の当初予算額は2兆3448億円で過去最大の予算額となった。コロナ禍で顕在化した生活困窮者や医療的ケア児等への支援といった新たな課題に取り組み、新しい日常に向けたデジタル化を進め、水防災戦略の推進や急傾斜地崩壊対策、県立教育施設や交通安全施設整備など県民の安全・安心のためのインフラ等の整備を加速化するための予算編成となった。

こうした状況の中、幼稚園関係の経常費補助においては、『園児一人当たりの単価』(県の割戻額)では、昨年度は200円微増に対して、4,580円の増(前年度比率102.3%)の200,158円となり、初めて20万円台に突入し、国の基準単価(194,871円)をさらに上回った。将来の幼児教育に対する質の向上や教職員の処遇改善にとって大きな前進となった。内訳は別表のとおり。子ども・子育て支援新制度移行に伴う幼稚園補助対象園の減少や対象園児の減少により、預かり保育推進費や地域開放推進費、特別支援教育費補助などは減額となったが、教職員割の『在職年数が長い教員への加算』については、勤続年数通算7年以上1名につき、年12万円増の年24万円(月2万円)に拡充された。また、新規として令和3年11月19日閣議決定された幼稚園教諭の処遇改善については、教職員1名につき9,000円+法定福利費/月(補助率:国1/4、県1/4、事業者1/2、令和4年10月~)が経常費補助の上乗せとして加算されることになった。

令和4年度当初予算(案)私学振興費等の概要

(私立幼稚園関係抜粋)

事業	令和4年度 (千円)	対前年度比 (%)	幼稚園関係摘要
経常費補助	9,259,302	94.1	園児単価: 国の基準単価 194,871円 県の割戻額(特別補助を含む) 200,158円 前年度比較 4,580円増
内 預かり保育推進費(特別)	324,990	92.4	補助対象園数の減 228園→207園(21園減)
内 地域開放推進費(特別)	148,200	98.3	補助対象園数の減 233園→227園(6園減)
幼稚園教員復帰支援事業費	1,727	100.0	県単独事業
私立幼稚園特別支援教育費補助	1,640,128	96.6	補助対象園児数の減 2,235人(75人減) (新制度移行園含む)
私立幼稚園移行準備費補助	5,264	85.5	認定子ども園等への移行にかかる業務負担軽減の費用補助
私立幼稚園園務改善費補助	36,423	202.4	幼稚園業務の負担軽減のための支援システムの推進
私立幼稚園緊急環境整備費補助	72,074	88.8	幼児教育の質向上を図るため、遊具等を整備する私立幼稚園及び認定子ども園に対して補助。
私学団体助成費	6,400	100.0	私学4団体の研修事業等に助成
一時預かり事業費補助	198,408	145.6	(次世代育成課) 緊急的な保育ニーズや保護者の通院・通学・リフレッシュのために就学前児童及び幼稚園児の一時預かり事業を実施する市町村への補助。
★関東地区教員研修大会負担金	1,000	皆増	第35回全日本私立幼稚園連合会関東地区教員研修大会(8月9日~10日)の経費の一部を負担

令和3年度 幼稚園教育経営研修会

基調講演

「今後の幼児教育について」

講師 文部科学省初等中等教育局 幼児教育課専門官

松本向貴様

2月5日にようちえん会館において、幼稚園教育経営研修会が開催されました。池田副会長の開会、小澤会長の挨拶、山中私学振興課課長のご祝辞と続き、基調講演として、文科省初等中等教育局幼児教育課松本専門官による、「これから幼児教育について」をこ

から読み取れる内容を基に討論しました。以前は幼稚園の採用もあまり急いで行う必要もなかったが、近年は従来の採用では対応出来ず苦勞する園も多いということです。また新型コロナウイルスの影響は今の生活スタイルを激変させ、学生も休校やリモート学習により、対人関係の希薄化、コミュニケーション能力の低下が起ころうになりました。これらの事は就職活動にも及び、既存の口コミがなくなり、どのように活動をするのか悩む方が多くなりました。

特に第5部のこれからの幼児教育・保育にて、幼児期の学びから小学校教育への移行における「10の姿」の重要性を再認識させる説明は大変興味深いものでありました。質疑応答で、制度が複雑すぎ分かりづらいと質問がありました。行政として幼児教育をどうしたいのかが分かる講演でした。

与等となっており、給与面よりも多くは人間関係を重視していることが伺えました。就職先については保育園67%、幼稚園21%、その他12%となっています。人材確保については従来のハローワーク・養成校からの紹介という形から実習生を採用する手段が有効であるという話が出ました。実習生の受入れは園側の負担も大きいですが、両者がお互いの様子を見る事が出来るからだといいことです。幼稚園協会としても毎年各協会が工夫を凝らし開催していますが、これ以外にも「幼稚園で働く」楽しさ、やりがいをもっと学生にPRしていくことも大事なのではないかと、とのことでした。

松蔭大学 コミュニケーション文化学部 子ども学科 野末晃英准教授、ベルサンテスタッフ株式会社 はいコレ事業部 チーフプランナー 五十嵐隼人氏、そして伊勢原ひかり幼稚園 理事長・園長 神奈川県私立幼稚園連合会研究部長 佐伯妙有先生をパネリストに迎え、「コロナ禍・少子化時代の人材確保について」神奈川の現状と今後」をテーマに特別鼎談を行いました。

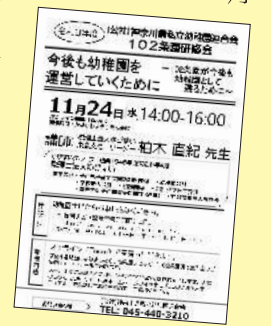
内容は、
1. コロナ禍により、どう変化したのか?
2. 現状から見る人材確保の課題
3. 今後の人材確保
4. 神奈川県私立幼稚園連合会、そして各園の対策

下、立地条件、採用試験、給

最後に、よりよい職場環境の実現のためには、一切のハラスメントを許してはならないことを共有して閉会となりました。

102条園研修会開催

令和3年11月24日に102条園研修会をオンラインにて開催いたしました。数多くの幼稚園会計を請け負っていらっしやる税理士法人ゆびすいさんから柏木直紀先生をお招きし、個人立幼稚園を継続していくために必要な知識や情報、また今後の将来像についてお話をいただきました。



102条園は、学校教育法制定前からの長い歴史を持っており、独自の教育理念や思想を受け継いでまいりました。個人立幼稚園の場合、その継承の過程において特有の問題が存在し、これまでも幾度となく研修会で取り上げられております。柏木先生にも今回この課題についてご説明いただきました。

一方、様々な要因により個人立幼稚園としての継承が難しいケースについても触れていただきました。将来像のひとつとして学校法人化の選択肢があること、またその選択肢における留意点等についてもご説明いただきました。

さらに、通常の会計業務におけるちよっとした工夫や、電子帳簿保存についても最後にお話しいただきました。

後継者育成研修会報告

令和3年12月21日に泉連の監事でもある特定社会保険労務士の押本靖貴先生を講師にお招きして、後継者育成研修会を開催しました。今回は「幼稚園のための人事と労務管理」2021年以降の労働法令の改正と「パワハラ防止」をテーマに、会場のようちえん会館には泉連未加盟園からの参加者も加えた16人の後継者らが参集して開会となりました。

はじめに、今年以降の労働法令の改正施行に関する話がありました。主なものとして、同一労働同一賃金、70歳までの就業確保措置、短時間労働者への社会保険適用の拡大、月60時間超の割増賃金率の引き上げなどについて詳しい説明がありました。

プレゼンテーション Presentation

運営委員会でサービス紹介いただきました！

12/13 株式会社ニシハタシステム
<https://www.nishihata-system.jp/>

「日常業務から災害までつながる安心」をキャッチにIP無線機伝シリーズのご紹介をいただきました。災害時に携帯電話が繋がらず途方に暮れた…。誰も思い当たる経験があるのではないのでしょうか。IP無線機は規制のかからないデータ通信を使っているので、災害時にも大活躍。もちろん日常時も距離も場所も選ばず一斉連絡も可能となります。さらに、NTTドコモの電波の中で専用回線を持っているので、安心感は一層高まります。無料でお試しもできますので、気になった方はご連絡ください。



2/9 株式会社ネエチア
<https://e-nature.co.jp/>

会議開催1時間前にネエチアの皆様がやってきて、おもむろに2メートルサイズのゲートを組み立て始めました。何が始まるのか興味津々。あっという間に「抗菌ゲート」ができ上がりました。人が通過時にセンサーが感知し、ゲートから出る細かなミスト状の抗菌剤が衣類や持ち物に付着した菌・ウイルスの増殖を抑制、施設内に菌・ウイルスを持ち込まないという優れたもの。もちろん人体に害はありません。県連にお越しの先生もゲート通過を経験。他社を寄せ付けない価格「29万8000円(税別)／設置費・県内無料」も魅力です。



賛助会員のご紹介

ワンダーブック
 世界文化ワンダー販売
 URL: <https://mywonder.jp/>
 事業内容: 保育雑誌『PriPri』『PriPriパレット』、月刊絵本『ワンダーブック』をはじめとした、保育図書、児童書の出版事業/遊具、保育備品、保育教材の販売
 〈本社〉〒102-8193 東京都千代田区九段北4-2-29 TEL. 03-3262-5128
 〈神奈川ワンダー社〉〒245-0016 神奈川県横浜市泉区和泉町7772-1 TEL. 045-806-1531

ワンダーでは、子どもたち、先生方、保護者の皆さんが充実した園生活を送れるよう、様々な商品を提案し続けます。そして、新しい学びで「今」を生きる子どもたちのために、よりよい保育環境づくりをサポートいたします。

Angel Foods
 エンゼルフーズ株式会社
 URL: <http://www.angel-foods.com>
 事業内容: 幼稚園・学校給食の製造・販売、認定こども園・保育園委託運営
 〈本社〉〒224-0054 神奈川県横浜市都筑区佐江戸町885-1
 TEL. 045-929-0145 FAX. 045-929-3475

「永遠に未完成の給食作り」の理念のもと、未来を担う子どもたちへ給食を通して健やかに成長する事を願い事業に取り組んでおります。幼稚園専門給食センターとして今後も様々なニーズに応えて参ります。

保険代理店 株式会社ミルボード
 株式会社ミルボード
 URL: <https://millboard.info>
 事業内容: 全日私幼連総合保障制度・生命保険・損害保険取扱いとご相談
 〈本店〉〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-14-4 シルバービル TEL. 045-476-2013
 〈県央支店〉〒252-0011 座間市相武台4-14-1 エヌケーエスビルII 3F TEL. 046-257-9077

当社は全日幼JK保険を推奨します
 幼稚園・認定こども園の保育現場では、ケガ・賠償・感染症や自然災害など、様々なリスクが存在します。当社は神奈川県内の保育現場に20年以上携わり、その経験と実績で保険を通して安心の提供に努めます。

TelWel NTTグループ テルウェル東日本
 テルウェル東日本
 URL: <http://www.telwel-east.co.jp>
 事業内容: ●110番直結非常通報装置販売・保守 ●施設、おもちゃの消毒 ●衛生用品販売 ●AirDog正規販売代理店 ●業務用オゾン発生器販売等
 神奈川支店: 〒231-0033 神奈川県横浜市中区長者町5-60
 NTT長者町ビル TEL. 045-341-0185

弊社は、非常通報機分野で60年に及ぶ実績があり、全国で6万台、神奈川県内では約1,800台の非常通報機を設置しております。110番直結の「非常通報装置」に関する動画をYouTubeでもご紹介していますので、是非ご覧下さい。 <https://youtu.be/fGABm44i1SY>

LongStone
 株式会社ロングストーン
 URL: <https://longstone.jp/>
 事業内容: Web・パンフレット制作、SNS運用サポ、ITコンサルタント
 〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷3-23-9 NSGハイム101
 TEL 03-6712-6588

幼稚園のWebサイト制作・運用は当社にお任せください。保護者様に向け、信頼感のある充実したWebサイトを制作いたします。ブログやSNS運用、SEO改善、動画制作も承ります。

Web, パンフレット お任せください

Pu PRICE
 株式会社プライス
 URL: <http://price.fem.jp>
 事業内容: 総合商社
 建築(ミサワホーム(株)、大木建設(株)、他)・医療関係商材・IT((株)カスト)・保存食・自販機取付・食品
 〒651-0085 神戸市中央区八幡通4丁目1-16-203
 TEL 078-232-1107 FAX. 078-232-1108 E-mail: info@price.fem.jp

多くの有名企業と提携しております。なんでもご相談下さい。現在は、今、話題のUFB DUAL(ウルトラファインバブル水)の機器、UFB水、世界初の水道管直結機器を、各施設・御家・マンション・関係建築会社・大手商社・個人に販売しております。ご興味の方は、ご相談ください。

ベルサンテスタッフ株式会社
 ベルサンテスタッフ株式会社
 URL: <https://www.bellsante.co.jp/>
 事業内容: 新卒採用ポータルサイト運営・HP制作・イベントの業務委託
 〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-19-12 新代々木ビル502号室
 TEL 0120-159-366

新卒採用に特化した事業を行っています。人材紹介ではありません。本来、新卒採用は費用をかけずともできるものです。学生が選ぶ園様には、共通点があります。新卒採用のお手伝いを致します。

幼保学生の就活応援サイト **はいコレナビ**

214号、215号、そして216号と賛助会員のご紹介をいたしました。総数40社、この1年間で新規ご加入は14社となりました。

様々な業種・業界の皆様が賛助会員になっていただき、多様なサービスを提供いただくことができるようになってきています。賛助とは「その事業の趣旨に賛成して力ぞえをすること」。私学幼稚園を支えてくださる賛助会員の皆様に感謝するとともに、今後も末永くお付き合いいただけるように、今後ともよろしく願いいたします。

(総務部長 鈴木豊司)

賛助会員を広く募集します
 加盟園の皆様からのご紹介をお待ちしています。ぜひ県連事務局へご連絡下さい。

事業者名/事業内容	
(株)ニシハタシステム	日常業務から災害時まで使えるIP無線機
(株)安田物産	給食から燃料までライフラインエネルギーを総合的に提供
(株)アイコーメディカル	給食サービス業
(株)みつばコミュニティ	幼稚園バス専門の運行管理
(株)ジャクエツ	園舎設計・遊具教材の製造販売
(株)矢部プロクッティング	幼稚園・中学校・高等学校制服製造及び小売業
(株)フレーベル館 神奈川支社	各種保育用品の製造と販売、図書の出版と販売等
(株)写真のワタナベ	幼稚園・保育園・学校写真撮影、卒園アルバム制作
(有)石黒印刷所	デザイン制作、印刷全般
横バス観光(株)	貸し切りバス
(株)こどものとも 横浜営業所	温もりの体験で家庭と園を結び福音館書店の月刊絵本
ひかりのくに(株) 横浜営業所	保育用品、保育図書
(株)ワールドライブラリー	海外翻訳絵本のレンタルサービス。世界中の絵本を定期的に交換
(株)ネエチア	各種セキュリティー機器販売・施工・メンテナンス
中越クリーンサービス(株)	AEDレンタル・販売
(株)チャイルド本社 横浜営業所	教育・保育に関する商品・サービスの企画、販売、提供
(株)神奈川ワンダー社	エンゼルフーズ(株)
(株)ミルボード	テルウェル東日本株式会社
(株)ロングストーン	(株)プライス
ベルサンテスタッフ(株)	
(株)CHaiLD	保育・介護分野におけるICT事業の企画・開発・販売・運用
リンクエイジ(株)	写真・動画撮影、ストレージ運用、関連商材販サービス
(有)劇団かかし座	影絵及び影絵劇の企画・制作・演出・上演活動
サンスター技研(株)	除菌脱臭機・消毒除菌液の製造販売など
(株)One play.	幼児・小学生を対象としたダンススクールの展開、プロスポーツチームとのイベント企画
(株)丸菱 関東営業所	食品包装資材、衛生用品(マスク、アルコール、使い捨て手袋、ペーパータオルなど)の販売
(株)シンテン	遊具・体育器具の点検・修繕及び施設管理支援サービス
(株)SN食品研究所	学校給食用食品等及び関連する物資の研究開発ならびに製造販売
株式会社ジャクパ	園運営・園経営を教育コンテンツとノウハウでサポート
大日商事株式会社	医薬品卸・斡旋
NEW 新規賛助会員	
株式会社ワイイーシーソリューションズ	
取扱: 情報・通信業	〒231-0023 神奈川県横浜市中区山下町22番地 山下町SSKビル Tel. 045-662-0881
株式会社エコテック	
取扱: 施設メンテナンスにおける企画・立案及び施工	〒222-0033 神奈川県横浜港北区新横浜2-17-2フォンターナビル7F Tel.045-478-2920
グレイプシティ株式会社 GrapeSEED事業部	
取扱: 幼児向け英語教育カリキュラムの展開	〒981-3205 宮城県仙台市泉区紫山3-1-4 Tel. 050-5490-4668
株式会社ひまわり空撮	
取扱: 航空写真撮影・販売	〒300-1331 茨城県稲敷郡河内町生板7261-1 ホワイトハイツ Tel. 0297-79-4003
中央電力株式会社	
取扱: 電力小売事業	〒107-0052 東京都千代田区永田町2-13-5 赤坂イトワンビル2階 Tel. 09-6681-3370
株式会社ひのきリライアンス	
取扱: 自家用自動車運行管理業	〒231-0015 神奈川県横浜市中区尾上町2-18-1 YSビル602 Tel. 045-263-8217
株式会社イトマンスイミングスクール	
取扱: 教育・体育	〒215-0004 神奈川県川崎市麻生区万福寺4-2-1 Tel. 044-954-940

関東地区教員研修大会 2022

2022年8月9日・10日の2日間、「関東地区教育研修大会」が横浜市みなとみらいの「パシフィコ横浜」で開催予定です。前回の開催から10年。今回も時代に即したテーマ、ゲスト、フォーラムなどの企画を鋭意現在準備中です。魅力あふれるイベントにぜひご参加ください。

県連HPに特設ページを開設し、関連情報をUPしていきます。

2022年8月9日(火)・10日(水) at **PACIFICO YOKOHAMA**

会場はココ!

カハラリゾートのとなり



新しく快適な空間でお待ちしています!

ケンタ・ガーデン ビッグ錠



©ビッグ錠



法律相談

R&G横浜法律事務所

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい4丁目4番2号
横浜ブルーアベニュー2階

TEL.045-671-9654

県連窓口担当
西村将樹 弁護士



ハラスメントの防止 職場におけるハラスメントを防止するために、事業主が雇用管理上講ずべき措置が法律・指針に定められています。事業主側で方針を明確化し、管理・監督者を含む労働者に対してそれを周知・啓発することは非常に重要なことですが、労働者からの相談や苦情に応じ、適切に対応するために必要な体制を整備することが求められます。相談があった場合には、事実関係を迅速かつ正確に確認し、被害者及び行為者に対して適正に対処するとともに、再発防止に向けた措置を講ずることになりますが、その際には相談者や行為者等のプライバシーを保護することも必要になります。さらに、相談したこと等を理由として不利益な取扱いを行ってはならないことも言うまでもありません。

令和3年 法律相談件数

相談内容	労務	16
	経営	10
	保護者	7
	事故	7
	その他	2
合計		37



教育相談

相談の申し込み

電話・ホームページから事務局へ申し込みください。

TEL.045-440-3210

<http://www.shinshiyou.com>

教育相談員
鈴木敦子先生
(臨床発達心理士)



ユニセフ? 食べ物に強い偏りのある年中女児のお母様からのご相談です。偏食は自分でもなぜ食べられないかわからないことが多いです。単独の野菜や肉なら大丈夫でも肉入り野菜炒めはだめな子どももいます(野菜と肉の味が混ざるから)。成長に伴い緩和される場合が多いですが、よく見かける「一口だけ食べてみよう」もできたら避けたいところです。嫌な思いだけで食べられるようにはなりません。さてユニセフです。その日の夕食はうっかりして本児の食べられるものがないメニューになってしまったそうです。お母様は相談で「こんな時はこの子のためにもう一品作るべきなんでしょうか?でも世界には食べ物がない子がたくさんいるとユニセフでは言っていますし、贅沢かなと」。さてさて次元の違う話です。気配りが必要な子どもの周囲の人間に頑張り禁止です。疲労は余裕を奪います。できるだけ楽な対応が必要です。食べられるおかずを多めに作り冷凍するのはどうでしょうかと提案しました。ユニセフには頑張っていたきたいですが。

令和3年 教育相談件数

	電話	面談	出張	計
1月	3	0	8	11
2月	4	0	2	6
3月	3	1	1	5
4月	1	2	0	3
5月	2	2	0	4
6月	7	0	8	15
7月	7	2	4	13
8月	3	0	0	3
9月	2	2	2	6
10月	4	5	3	12
11月	4	5	2	11
12月	3	3	2	8
計	43	22	32	97



JAKUETS

株式会社ジャクエツ

東京本社: 東京都港区高輪 4-24-50 TEL 03-3442-2260
 福井本社: 福井県敦賀市若葉町 2-1770 TEL 0770-22-2200
 WEB <https://www.jakuets.co.jp>

保育に役立つワンダーの月刊絵本と保育雑誌

ワンダーランド **ぽけ** おはなしワンダー
 ワンダーブック **ぷちワンダー** おはなしワンダー
 ワンダーえほん **ベストセレクション** ワンダー
PriPri **ワンダーしぜんランド** **ワンダー名作選**

株式会社神奈川ワンダー社

〒245-0016 神奈川県横浜市泉区和泉町 7772-1 Tel.045-806-1531 / Fax.045-806-1537